

高等学校日语教材

日语

本科论文

写作指导

聂中华◎编著

高等学校日语教材

日语

本科论文

聂中华◎编著



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语本科论文写作指导 / 聂中华编著. —2 版. —大连:大连理工大学出版社, 2009. 7

(高等学校日语教材)

ISBN 978-7-5611-3130-5

I. 日… II. 聂… III. 日语—论文—写作—高等学校—教学参考资料 IV. H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 012092 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm 印张:10.625 字数:267千字

印数:9001~13000

2006年3月第1版

2009年7月第2版

2009年7月第4次印刷

责任编辑:王佳玉 于洋

责任校对:张宇

封面设计:张虎

ISBN 978-7-5611-3130-5

定 价:22.00 元

前 言

写论文难，用外语写论文更难，这是很多人的共识。的确，要写出高质量的论文不是件容易的事，对于日语专业的学生来说尤其如此。大学阶段主要学习日语语言基础知识，用日语写作文难免会出现错误，对科学研究、论文写作方法也是知之甚少，写论文似乎是可望而不可及的事情。现在市场上能见到的本科论文写作教材很少，而且都是用日语写的，一些学术专业术语让学生很难理解，学生从中获益不大。本书正是在这个背景下，从学生的实际需要出发，以实用性、指导性为原则，采用中文行文，参考国内专家、学者的理论、观点撰写而成。

本书由六章构成，分别是：

- (1) 概论
- (2) 选题与资料分析
- (3) 文献综述和开题报告
- (4) 论文的基本构成与写作要领
- (5) 专题论文写作
- (6) 论文答辩

全书从选题到查找资料，从论文写作构思到专题论文写

日语本科论文写作指导（第2版）

作，从范文评析到如何准备、应对答辩，均有详细的介绍，特别强调方法论的指导，书中还有大量的选题供学生参考。书后有开关于开题报告、论文评审标准、常用文体的一些介绍，对学生有较大参考价值。

本书在写作过程中，得到了湖南大学罗明辉教授、浙江师范大学姜群星教授的指导，他们为本书的写作提供了大量的资料。

本书在成书过程中得到了我的恩师广东外语外贸大学博士生导师陈访泽教授的支持，大连理工大学出版社王佳玉副社长、宋锦绣主任在本书的写作过程中付出了大量的心血，在此一并致谢。

聂中华

2009年于杭州西湖

目 录

| | |
|-------------------------------|----|
| 第一章 概论 | 1 |
| 第一节 日语专业本科毕业论文写作目的..... | 1 |
| 第二节 日语专业本科论文的基本要求..... | 20 |
| 第三节 论文的种类..... | 26 |
| 第四节 论文写作过程中指导教师的作用..... | 30 |
| 第二章 选题与资料分析 | 33 |
| 第一节 选题的意义..... | 33 |
| 第二节 选题的原则..... | 35 |
| 第三节 选题的方法..... | 38 |
| 第四节 资料处理..... | 40 |
| 第五节 资料分析..... | 48 |
| 第三章 文献综述和开题报告 | 52 |
| 第一节 文献综述..... | 52 |
| 第二节 开题报告..... | 67 |
| 第四章 论文的基本构成与写作要领 | 74 |
| 第一节 摘要..... | 75 |
| 第二节 关键词和引言..... | 78 |

| | | |
|-------------|-----------------------|-----|
| 第三节 | 本论 | 83 |
| 第四节 | 结论与参考文献 | 105 |
| 第五节 | 论文的修改与定稿 | 107 |
| 第五章 | 专题论文写作 | 110 |
| 第一节 | 日语语言类论文写作 | 110 |
| 第二节 | 日本文学类论文写作 | 134 |
| 第三节 | 日本文化类论文写作 | 177 |
| 第四节 | 日语教学类论文写作 | 223 |
| 第五节 | 日语翻译类论文写作 | 246 |
| 第六章 | 论文答辩 | 294 |
| 第一节 | 论文答辩的意义 | 294 |
| 第二节 | 答辩前的准备工作 | 296 |
| 第三节 | 答辩的规定 | 302 |
| 第四节 | 论文成绩评定 | 305 |
| 附录一 | 本科毕业论文任务书 (样本) | 307 |
| 附录二 | 本科毕业论文开题报告 | 310 |
| 附录三 | 毕业论文抽评参考标准 | 315 |
| 附录四 | 常见实用文体的写作 | 319 |
| 参考文献 | | 332 |

第一章 概 论

第一节 日语专业本科毕业论文写作目的

毕业论文，是本科生在毕业前按照规定提交给学校的有一定学术价值的文章——学术论文。毕业论文写作教育是高校学生培养过程中一个必要的环节。写毕业论文也是对毕业生综合运用所学基础知识和专业知识能力的检验。毕业论文也能反映出学生对知识的掌握程度，以及研究问题、解决问题的能力强弱。是衡量高等学校教育质量和办学效益的重要评价内容。与此同时，本科毕业论文也是对本科教学的一次检验，学生的选题、写作过程中的一些现象会折射出本科教学中的普遍问题。目前全国各高校都非常重视学生的毕业论文写作。

日语专业的学生有一定的特殊性，进入大学之前一般都没有学过日语。很多学生认为三年半的学习连日语基础都还不扎实，谈什么用日语写论文。有些学生也会认为我们的老师也不会写论文，没见他在什么刊物上发表过论文，怎么指导我们写论文。学界也有人提出了取消本科论文的建议，但是，根据《中华人民共和国学位条例》，即使是各门功课成绩都是优秀，但是毕业论文不合格仍然不能准许毕业，不能授予学位。本科生论文写作不能取消，反而应当切实加强。让学生充分激发出自我的主动性和思考的独立性、创新性，从论文写作

的过程中获得更多的东西。

一、培养对知识的整理能力

在三年半的日语学习过程中,接触到许多语言基础知识。但往往是零碎的,不系统的。利用写毕业论文的机会,就某一问题,结合汉语进行对比,往往也能写成一篇好的论文。为什么提倡结合汉语进行对比呢?

中国学生在学习日语时,每接触到一个新的日语表达方式时,往往脑子里就会想这一说法汉语怎么说呢?这种反应是正常的,学外语就应同母语进行比较,掌握差异的过程也就是掌握一门外语的过程。

教材每一课出现新的语法时,课后的解释都会给出相应的汉语表达。但只限于课文中出现的现象,因此,就某一问题结合汉语,进行总结,既可以拓展知识面,也能锻炼自己的知识整理能力,在整理的过程中,往往会有新发现,自己的发现也就能成为论文的观点。有了观点,再通过论述,也就能写成论文。

例如:流行语平时在课文中也会学到,但教材中没有系统的介绍。也是年轻人感兴趣的话题。如果利用写毕业论文的机会进行总结,也能写成论文。

日本の流行語の翻訳について

陳紅

はじめに

世の中には様々な言葉が次々と生まれたり、消えたりしている。中国の改革開放政策が実施されて以来、経済や社会だけでなく、文化の面においても、大きな変化が及ぼされている。グローバル化の進行に伴って、社会の各分

野で新語や流行語などがたくさん出てきた。現在では、若者をはじめ、このような言葉はほとんどの人々に大きな影響力をもたらしている。特に日本では、1984年からは12月に自由国民社が新語流行語大賞として表彰している（表彰式は毎年12月最初の平日）。つまり国中最もホットな言葉を十個選んで、流行語のトップテンとして扱うというような形式である。内容は政治から文化まで何でもよく、また政治家から普通の庶民まで誰でも受賞する可能性がある。だから、日本ではとても人気があり、日本人の生活の中でも非常に大切な役割を果たしている。となると流行語を通じて、今の日本人の一面を覗くことができる。けれども、日本語の全然できない人は言うまでもなく、大体できている人も必ずしも日本の流行語が分かるとは限らないと思う。そうすると、日本の流行語をどうやって中国人に紹介すればいいかは非常に意義深い課題となってくる。それをやり遂げるのはわれわれ日本語を勉強している人々において、他にできる人がいないのだろう。そこで、この論文では流行語の翻訳に重点をおいて考察した。

本論

流行語はいったいどんなものか。

流行語とはどんな語なのだろうか。まず始めに流行語の概念について展開する。

【流行語とは?】

流行語の定義は様々である。中には狭い階層の限られた人たちの間で流行していることばもある。「若者ことば」もそのひとつ。特徴は、略して短くした語が多いこと。近

年、その記号化、暗号化が進み、説明がなければ、全くわからないことばも多い。こうした難解な言葉を使用することで、互いの仲間意識を深めているという見方もある。

流行語は、流行としてはやった言葉やフレーズである。

次に流行語と新語は一緒なのか。この問題を解決するには、新語と流行語との二つの単語をはっきり区別すべきである。広辞苑の解釈によれば、新語は新しく造られ、または使われだした言葉で、これには二種類あり、ひとつは全く新しく造られた「新造語」であり、もうひとつは既存の語の語形・意味・用法を変えたり、合成したり、借用したりしてできた語である。それに対して、流行語とはそのときの世相を反映させ、人の気持ちを引くように、新しくわざと作った言葉。その中に語形だけが新しい場合(例：デラックス)も、意味だけが新しい場合(例：よろめき)も、語形、意味とも新しい場合(例：オートメ夫人)もある。いわゆる「新語」も新しく作った言葉であるが、必ずしも人の気持ちを引くことを狙っていない点で異なる。たとえば、〈水爆〉〈化繊〉は新語であって、流行語ではない。これらが人の気持ちを引くようにも見えるのは、言葉ではなく、事柄自身による。また、〈スラング〉は人の気持ちを引くことを狙ってはいるが、必ずしも新しい言葉である必要がない。たとえば、〈ドッペル〉(落第するの意味)や〈しょうもう〉(疲れた、金が乏しいなどの意味)は学生層で代々伝えられてきた言葉である。以前からあることばが突然流行語になることがしばしばある。また、新語の多くは流行語とはならない。新語が流行語になるのは新語として出現し広く人々の口にのぼった場合である。な

お、流行語は必ずしも「語」ではなく、「句」や「文」であることもある。たとえば、1958年ごろ、小、中学校に限られて、しかも全国的ではなく流行した〈カクン〉(しまった!いやだ!の意味)などはその例である。そのときの世相を反映していることが必要だから、世相が変われば、使われなくなる。世相の変わるのが早く、しかも、生活の単調さに抵抗し、会話に花を添える気分が盛んな時には、次々と新しく作られる。流行語の生命は実に短い。一カ年持たないこともある(例：神武景気)。同じ流行語でも、服装などの流行と同じ意味が繰り返し使われることはない。流行語を作ったり、広めたりするのは、友達、兄弟、先生、家の人のこともあるが、現代では、ラジオ、テレビ、映画、流行歌、小説、漫画の本、雑誌、新聞、週刊誌といった、マスコミのメディアが強力な大量生産者である。〈むちゃくちゃでござりまする〉〈アジャパー〉〈さいざんす〉はラジオで、〈太陽族〉〈たよりにしてまっせ〉は小説、漫画で、〈ドライとウェット〉〈書きますわよ〉は週刊誌で広まった。言葉として単語(よろめき、太陽族)・文節(書きなすよ)・文(たよりにしてまっせ)、いろいろな単位に当たるものがある。

流行語が生まれる背景

流行語が生まれる背景はそれぞれ違っている。流行語がなぜ発生したのかということをもとに分類した。これは第一に政治家などの有名人の発言。たとえば、2003年の年間大賞を受賞した小泉純一郎(内閣総理大臣)の言葉で米百俵/聖域なき改革/恐れず怯まず捉われず/骨太の方針/ワイドショー内閣/改革の「痛み」所信表明演説で使われた「米百俵」

「恐れず怯まず捉われず」、首相のスローガンである「聖域なき改革」、それにとまなう「改革の『痛み』」、首相を議長とする経済財政諮問会議の「骨太の方針」、小泉政権に名付けられた「ワイドショー内閣」。2001年4月、第87代(56人目)の総理大臣となった小泉純一郎首相は、空前の国民支持を背景に、説得力あるキャッチフレーズを駆使することで01年最多の「流行語生みの親」でもあった。第二に大事件で大騒ぎ、あるいは映画や漫画や広告により流行し出された言葉。たとえば、SARSやコメ泥棒(つまり、ナシ、メロン、アスパラガス、ブドウなど、農作物盗難が相次ぐなくなって、冷夏による不作で値上がりしたコメを狙う泥棒が多発。「オレオレ詐欺」とならんで、2003(平成15)年珍妙犯罪の代表格となった。)第三に若者による流行語。たとえば、「チョコベリバ/チョコベリグ」世を席卷している女子高校生言葉の最新バージョン。社会の出来事や人物の評価、好き嫌いの表現語として「サイコー」「サイテー」に替えて使われる。英語のベリィ・バッドやベリィ・グッドの上に「超」を冠したもの。「アムラー」スーパーアイドル安室奈美恵のファッションが大流行し、これをまねたギャルを「アムラー」と呼んだ。超ミニスカート、底の厚いブーツ、肩まで垂らす長い髪の三点セットが取りあえずの「アムラー」条件だそうで、街には“安室奈美恵もどき”が溢れた。

流行語の翻訳(具体的なやり方)

直訳

流行語では流行漢語と流行和語がある。流行漢語の場合、流行漢語と中国語が同義語、類義語、異義語である三つ

に分けられる。

流行漢語と中国語が同義語である場合

例えば、1937年「総動員」、1938年の「代用品」、1945年の「民主化」、そして去年の流行語大賞でトップテンを受賞した「年収300万円」^①。「年収」という流行漢語は「年の収入」という意味で、われわれ中国人が見てから中国語の「年収入」という言葉を思い出しやすいだろう。実はその通りである。このような単語はほとんど中国の文字と同じ、意味もあまり変わらないのである。そして、流行漢語というと、中国の古文と大体似ている文字だから、中国人が見た目では大抵理解できる程度である。だから、この場合に、そのまま、「总动员」「代用品」「民主化」のように訳せばいい

流行漢語と中国語が類義語である場合

例えば、1943年の流行語「玉碎」や、1947年の「ご名答」や、1966年の「過疎」などである。皆さんをご存知のように、中国では「宁为玉碎，不为瓦全」ということわざがある。「玉碎」は文字通りに玉が砕いてしまったという。つまり非常に貴重あるいは大切な物を壊してしまったという意味である。だから中国のこのことわざを使って「宁为玉碎，不为瓦全」に訳したほうがいいと思う。

流行漢語と中国語が異義語である場合

漢語は二つに分けられる。一つは中国起源の字音語の内、文章語としては広く用いられるが、一般の人にとってはやや改まった感じを持って受け取られるもの。もう一つは日本起源の字音語、及び中国語起源ではありながら、社会生活に密着して久しく用いられてきた結果、使用度がばなはだし

く、あたかも日本起源であるかのように一般の人に受け取られている字音語。

前者の場合、流行漢語はほとんど中国語と同じ、その意味はわれわれ中国人が見た目ではほとんど分かると思う。その一方、後者の場合、中国語にはあまり対応している語はない。

1953年に受賞した流行語「八頭身」を例として見てみよう。もし漢字を見ただけで、どういうことを思い出したのだろうか。もしかしたら、「八つの頭を持つ体」ではないだろう。しかし、中国語とは違って日本語では体の首から上の部分と下の部分とが一对七の比率であること。また、その比率の女性である。

流行和語、外来語、混種語

今までの流行和語は流行語において割合に多い。このような単語は私にしてみれば、そのまま直接中国語に訳せばよい。「贅沢は敵だ」という1940年の流行語を例にしてみれば「奢侈为敌」に訳したら結構である。このような例文はずいぶん多いのだ。そのほかに、例えば1950年の「もはや戦後ではない」や、1968年の「大きいことはいいことだ」などである。それをありのままにして訳して、「現在非战后期」「大就是好」になる。

外来語(主に英語)を媒介として訳すこと

外来語は非常に多い。特に今の時代では外来語を使う人が増える一方である。町の看板やテレビの番組は外来語をたくさん使う傾向がある。今はもう外来語がなくては日本語はありえない時代となった。だから、外来語は日本人にとって

どのような位置をしているかは分かるだろう。

例えば、1934年の流行語「パーマネント」である。今はほとんど「パーマ」に省略したが。「パーマ」というとごく普通の美容の一部分だから、皆さんがきっと存じと思う。しかし、この流行語が流行し始めた頃は1934年で、1905年ロンドンに生まれてから、まもなくのことであった。英語で表すと、「permanent」になる。「英漢辞書」で調べたら「燙发」という意味である。これはただ一つの英語の単語から成りたてられた流行語だから、訳すにも便利である。以下の「エログロナンセンス」(1930年の流行語)の通りに、三つの単語から組み合わせられたものである。つまり「エロ」「グロ」「ナンセンス」の三つである。この三つの単語と初めて出会った時、全然理解できないだろう。しかし、この流行語を分析して、三つに分けてそれぞれの意味を調べた上で、多少理解できると思う、辞書に調べたら、「エロ」は「enotic」で、性的興奮や興味を起こさせることあるいは様子だとの意味である。「グロ」は「grotesque」の省略で、英語では「grotesque」である。意味としては普通の意味での美とはひどくかけ離れていて、長く見ていて気持ちが悪くなるような様子である。そして、「ナンセンス」というのはつまり無意味で、英語で表すと「nonsense」である。まともに取り上げるだけの価値が無い様子だという意味である。以上のように、三つの単語の意味を分かってから、「エログロナンセンス」の意味も大体分かるようになってきた。それは意味の近い単語であるから、中国語に訳せば「风流, 变态, 荒唐」あるいは「色情, 荒诞, 无聊」みたい

なものである。

流行語の中に、混種語というものがある、例えば、漢語と和語の混種語、あるいは、漢語と外来語、和語と外来語の混種語である。漢語と和語の混種語は普段よくある言葉である。たとえば1963年の「三ちゃん農業」（三老农业）や1945年の「真相はこうだ」（真相如此）、また1948年の「冷たい戦争」（冷战）などである。外来語と一緒に混種語を作るのも少なくはないのである。例えば、1954年の流行語「とんでもハッペン」や2002年のトップテンを受賞した「ダブル受賞」や1951年の流行語「逆コース」などである。「ダブル受賞」は2002年にノーベル物理学賞を受賞した東京大学名誉教授の小柴昌俊さんと同年ノーベル化学賞を受賞した島津製作所ウイフサイエンス研究所フェロー田中耕一さんのことを指している、「ダブル」は英語の「double」から出た言葉で、「二重、二倍」という意味である。この場合には、外来語をもとの言語（主に英語）に、それからもとの言語を中国語に訳し、また漢語や和語を中国語に訳したほうがいい。そうすると、「ダブル受賞」を「双双获奖」に、「逆コース」を「逆流」「倒行逆施」に訳せばよい。

流行語の背景と共に考えて、適当な中国語に訳す

流行語はなぜ流行になれるかという点、必ず何かの原因がある。それは流行語が生まれる背景である。流行語を正しく訳すためには、その背景を読み通さなければならないのである。もし背景を切り離されたら、流行語が存在する価値がなくなるのである。

1949年の流行語「ワンマン」を例として見てみよう。